

令和6年度 第1回江南市健康づくり推進協議会 会議録

開催日時 令和6年12月26日(木) 午後2時から午後3時40分

場 所 江南市保健センター グループ指導室A

出席者 出席委員 17名

長谷川 真子 (学識経験者)	岩田 和久 (医療関係者)
高田 明昇 (医療関係者)	加藤 眞司 (医療関係者)
日比野 忍 (保健関係者)	武田 篤司 (福祉関係者)
櫻澤 弘章 (関係機関代表者)	村瀬 勝弘 (関係機関代表者)
久村 幸則 (関係機関代表者)	久末 史帆 (関係機関代表者)
佐々木 洋治 (関係機関代表者)	前川 晶 (関係機関代表者)
横山 久美子 (関係機関代表者)	山名 久子 (関係機関代表者)
中村 久美 (市民代表)	藪見 武彦 (市民代表)
藤岡 和俊 (市議会議員)	

欠席委員 なし

事務局 健康こども部長 健康づくり課長 健康づくり課主幹
健康づくり課健康推進グループ職員2名

傍聴人数 なし

1. 会議次第

<あいさつ>

<協議事項>

1. 委員委嘱
2. 会長・副会長の選任について
3. 第3次健康日本21こうなん計画の概要について
4. 第3次健康日本21こうなん計画【市の取組状況】について
5. 第3次健康日本21こうなん計画【わたし(個人)の取組状況】について
6. 「健康推進に関する協定」に基づく取組状況について
7. 健康づくりの重点施策について
8. その他

2. 会議経過

	<p>【あいさつ】 健康こども部長あいさつ</p>
	<p>【協議事項1 委員委嘱】</p>
	<p>【協議事項2 会長・副会長の選任について】 江南市健康づくり推進協議会設置要綱の規定により、委員の互選により会長に長谷川委員、副会長に武田委員を選出。</p>
会 長	協議事項3から6の4件は関連する内容となりますので、一括議題とします。
事 務 局	<p>【協議事項3～6】 (説明)</p>
会 長	説明の中でお気づきの点、ご質問、ご意見などがございましたらお願いします。
委 員	計画書の「社会とのつながり」の項目で、社会活動に参加している者の割合について目標が設定されていますが、「社会活動」の定義を教えてください。65歳以上の女性より男性の方が高い割合となっていますが、自分の周りを見ると、外に出て活動している人は女性の方が多いように思います。
会 長	社会活動の定義について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	計画書の77ページに目標指標が掲げられていますが、ボランティア活動や生涯学習サークル活動、老人クラブ活動など、地域での活動に参加している方の割合を市民アンケート調査の結果から算出したものとなっています。調査結果では、男性と比べて女性の割合が少ないという結果になっています。
会 長	調査票ではどのような質問の仕方をしているかをご説明ください。
事 務 局	自治会の役員や寺総代、神社総代などを地域活動に含めて考えた場

	合、それらの参加者は男性の方が多傾向にあるため、このような結果になっていると考えられます。計画の中間評価を実施する際には、整理していきたいと考えております。
会 長	東京都長寿研の研究でも社会活動と健康寿命には関連があるという結果が出ています。委員がおっしゃったとおり、社会活動をどのように捉えているかは重要となりますので、確認ができ次第、回答をお願いします。
事 務 局	計画の中では、地域や職域に居場所があることが重要で、地域社会とつながりを保つことが健康増進につながることから、より多くの市民が就学や就労を含む社会活動に参加できるような環境整備が求められていることを記載しております。
会 長	その他、お気づきの点やご質問はありますか。 質問、意見も他にないようですので、協議事項7に移ります。事務局から説明をお願いします。
事 務 局	(説明)
会 長	健康づくりの重点施策について説明がありました。お気づきの点、ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。
委 員	資料によると、犬山市のがん検診の受診率が非常に高いのですが、自己負担額を見ると他の市町より高く設定されています。どのような対策を実施すれば、このように受診率が高くなるのか調査はされていますか。
会 長	犬山市の取り組みについて、説明をお願いします。
事 務 局	犬山市の自己負担額についてですが、国民健康保険加入者については、自己負担額は半額になっております。 犬山市では、個別受診勧奨や節目年齢の方に対する無料クーポン送付を行っていることや、実施期間が江南市と比べて長いことなどにより、受診率が高くなっていると考えられます。他市町の取組について、更に調査研究してまいりたいと考えております。

<p>会 長</p>	<p>調査研究していただき、ご報告をお願いします。 その他ございませんか。</p>
<p>委 員</p>	<p>がん検診の期間を4か月に限定している理由を教えてください。通年で受診できるようにすることは考えていないのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>がん検診の実施期間については、それぞれの市町が地域の実情に応じて定めていくこととなります。江南市は大きな病院からクリニックまで50以上の医療機関があります。地域医療を支える通常の診療に影響が出ない範囲でがん検診を実施していただくよう、医師会と調整しながら期間を定めています。</p> <p>他市町の事例としましては、例えば、名古屋市ではがん検診を通年実施しております。検診期間が長い市町からの転入者から、実施期間が短いのでがん検診が受けられなかったという話を伺うことがありました。</p> <p>そうしたことから、近隣の市町と同水準とするため、通常診療に影響が出ない範囲で実施期間を拡充することについて、医師会に協力を求めてまいりました。その結果、令和7年度は、6割強の医療機関で検診期間を拡大できるとの回答をいただいております。今後は、検診期間の拡大によって、受診率が上がるかどうか分析するとともに、より多くの市民が受診できる機会を創出してまいりたいと考えております。</p>
<p>会 長</p>	<p>検診期間が通年になると、1年に1回の受診をしなくなる傾向があるとの研究結果もありますので、期間延長が受診率にどのように影響するかを調査していただき、ご報告いただければと思います。</p> <p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p> <p>それぞれのお立場から、健康づくり推進に関わる中での情報提供や、自身が健康づくりに取り組む中でこんな施策があると良いという提言などあればお願いしたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>歯科では節目健診を7月から10月まで行っています。尾北歯科医師会でも市にお願いし、12月まで期間を延長したことがありますが、受診率にあまり変化はありませんでした。受診者が通いやすい季節を選んで期間を設定する方が良いと思います。</p>

事務局	<p>昨年度に実施しました江南市健康づくり推進協議会の中でも、冬場のがん検診の予約が埋まらないという状況を伺いました。しかし、今年度は1月も予約が順調に入っていると聞いています。医療機関の予約状況を随時確認しながら、市民のみなさんへのメール配信などで受診勧奨を行っていかうと考えています。ご協力をお願いいたします。</p>
会長	<p>貴重なお時間を作っていただいておりますので、皆様から一言ずつご意見やご提言をいただければと思います。</p>
委員	<p>HPVワクチン予防接種の個別勧奨を来年度から小学校6年生の女子を送付対象とするとあります。豊川市では接種率一桁だったのが、様々なキャンペーンをしながら50%代になったと発表がありました。小学生については、学校教育課の協力を得て、学校から通知をしていただいたと聞いています。20歳から29歳までの方についてはInstagramで情報を得る方が多いので、Instagramを利用して勧奨をしたということです。江南市では小学校6年生に対して勧奨をされるということなので、それにより接種率が上がるとよいと思っています。学校の先生に関心を持っていただくと、生徒や保護者に伝わる機会が増えるのではないかと思います。</p>
会長	<p>HPVワクチンの接種控えから、再開されて個別勧奨を進めていくとありました。豊川市の事例をご紹介いただきました。学校関係者からご意見がありましたら伺いたいと思います。</p>
委員	<p>市からの依頼で学校から通知をするということは、今まではしていません。実施する場合は、保健だよりで勧めるということではできないかと思っています。しかし、学校によって差があると思いますので、市からお知らせを出していただくと助かります。</p> <p>資料で、「歯と口の健康センターの充実」とありましたが、子どもへのフッ化物塗布を行っているとのことでしたので、これも保健だよりで啓発し、少しでも歯と口の健康についての意識づくりや行動変容につながるとういかなと思っています。</p>
会長	<p>2点ご提案がありましたので、事務局の方で施策につなげていただければと思います。</p>

事務局	<p>HPVワクチン接種に関する豊川市の取り組みについては、保健師による生徒・保護者に対する出前講座において、ワクチン接種について説明することで摂取率向上につながったということを知りました。しかし、ワクチン接種に良い印象を持たない方がいる昨今の社会情勢から、学校を通じての案内には踏み切れていない状態です。今後の検討課題だと思っています。中学生になると医療機関受診の機会も減ってくることから、二種混合ワクチンの2期接種の機会に小学校6年生に対して、医師の立場からHPVワクチンの説明をしていくのがよいのではないかと意見がありましたので、来年度は小学校6年生に接種券を送付することから始めたいと考えています。</p> <p>歯と口の健康に関しては、学校と連携しながら、保健センターの歯科衛生士が訪問して教室を実施しています。また、歯と口の健康センターには定期的に歯科健診を受けている方の参加が多いのですが、口腔ケアに無関心な方への勧奨が課題となっています。学校の保健だよりへの掲載を含め、教育課とも連携して進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>令和7年度の歯と口の健康センターにおいて、食育講座と野菜摂取量測定を行っていききたいと考えています。</p> <p>歯科医師会としましては、学校でのフッ化物洗口を10年以上前からお願いしていますが、なかなか実現しません。尾北歯科医師管内の江南市、大口町、岩倉市において小学校でのフッ化物洗口を行っていないのは江南市だけです。前向きに検討していただきたいと思っています。</p>
会長	<p>情報提供いただきましたので、各機関でご検討いただきたいと思っています。</p>
委員	<p>フッ化物洗口が小学校で行われない特別な事情があるのでしょうか。</p>
委員	<p>フッ素を保管するには鍵付きの薬品庫が必要になること、準備が大変なこと、希望されない保護者もいること、給食後の時間は委員会活動などで児童の時間がないこと、といった理由で実施できていません。養護教諭部会に持ち帰って検討していききたいと思っています。</p>
会長	<p>子ども達の予防接種も増えて日常的に忙しい中で、身体活動も減っているという問題もありますので、子ども時代からの健康づくりの環境整備を総合的に考えていかなければならないと感じました。</p>

委 員	<p>特定健診後の保健指導を薬剤師が担うことをここ数年、試験的に行っています。今回議題になっている内容について、全体的な改善を提案していきたいと考え、動いているところです。</p> <p>薬局で保健指導を行う道筋を作っていただくと、より改善につながるのではないかと思いますので、機会をいただけたらと思います。</p>
会 長	<p>薬剤師会からのご提案をいただきました。今後、事務局で検討いただきたいと思います。</p> <p>まだ発言いただいている委員に、一言ずつ発言いただけたらと思います。</p>
委 員	<p>こうなん健康マイレージ事業とは具体的にどのような内容か教えてください。</p>
事 務 局	<p>健康づくりの取組を行うごとにポイントカードに記録していき、40ポイントを貯めるものです。また、「あいち健康プラス」というアプリでも参加できます。</p>
委 員	<p>市老連では年一回のスポーツ大会とグランドゴルフ大会を行っていますが、年々参加者が減っています。どうすれば参加者が増えるのか執行部で考えています。</p> <p>その他、スポーツ大会とグランドゴルフ大会以外に誰でも参加できる「ボッチャ」のイベントも企画したいと考えております。一人でも多くの方に参加していただき、健康で長生きしてもらうことを目標に活動しています。</p> <p>地元の活動については、2年前に今市場に新しい公会堂を建設しましたが、現在、推進会議のメンバー5人でイベントを企画し、高齢者を含めた地区の方に一人でも多く参加してほしいと頑張っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先程話題に上りました、65歳以上の方の社会参加においても老人クラブの活動は大きな意味があると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
委 員	<p>スポーツのイベントをきっかけ作りと考えています。小学校・中学校の体力測定の結果が発表されました。愛知県は男子が最下位、女子が</p>

	<p>45位か46位くらいで、かなり運動能力が低下しています。家でパソコンに向かうより、何かきっかけを作って外に出て、歩くだけでも良いので行ってもらいたいです。</p> <p>スポーツ推進委員会では、コミュニティスポーツ祭を校区ごとで行っています。軽スポーツ中心に行っている学区と運動会形式で行っている学区があります。</p> <p>10月には保健センターとも協力して「楽しみん祭」で軽スポーツの紹介を行っています。広く周知していければと思っています。スポーツ推進委員会では「こうなんだ体操」を作成し、準備しています。各地域の方々に配布できればと思っています。ラジオ体操ではなく楽しい体操を広めていければと考えています。</p>
委員	<p>スポーツ協会は、従来の競技スポーツが中心になっています。一年間の活動日程の中で活動することになります。今後は、幼稚園児、小学生、中学生が、行きたいときに行って専門的な競技をするという新しい形も必要かなと思っています。地域の活動をしている方たちとタイアップしながら、気軽に行って気軽にできるという環境を作っていく必要があるのかなと思っています。</p>
委員	<p>健(検)診を来年度は6月後半から12月まで行うということですが、個人的な意見としては、受診率が下がっているのは猛暑の影響があると思っています。「暑くて健康診査なんてできない」と皆さんははっきりと言われていますし、「12月も忙しくてそんなことできない」という意見もあります。一宮市は春から実施していますので、江南市でも検討していただけたらと思います。犬山市の胃がん検診の受診率が高いのは、おそらく、バリウムや胃カメラの検診だけではなく血液検査もカウントしているからではないかと思っています。血液検査のABC検診は、一般企業も行っています。厚生労働省から胃がん検診の受診率を上げろと言われますが、働いている人にはバリウム検査をしたくないという方も多くいますので、企業側は血液検査で胃がん検診を代用していると聞いています。</p>
会長	<p>検診の受診率について、実施時期など調査研究しながら進めてください。</p>
委員	<p>「令和7年度から実施する予定」との説明が何回かありましたが、3</p>

	<p>月議会の当初予算に上げる予定で議決されていないから「予定」と言っているとの認識でよいのかなと思います。周辺の市町と比べて、江南市だけ行っていないことがあるとお聞きしましたので、江南市でも実施していけるようになったら良いかなと思います。</p> <p>前回の一般質問で、「健康日本21」について質問しました。その時に、歩く歩数にこだわって質問しました。「健康日本21」では一日に7,000歩程度が目標とされていますが、江南市民はあまり歩かないと思います。玄関から出たら車に乗って、スーパーマーケットでは出入口が一番近いところに車を止めていると思います。東京のように公共交通機関が発達している所では車に乗らずに、電車やバス、地下鉄を利用してたくさん歩いているので、車で送迎してもらう会社の社長さんより健康だと思います。先程話が出ていた健康マイレージのアプリを利用していますが、一日の目標歩数を設定でき、達成できたらポイントが貯まることになっています。スマホの歩数計と連動させることができるので、ぜひ活用していただきたいと思います。筋肉は、70歳、80歳、90歳になっても、使えば使うほどつくと言います。歩く目標歩数は、若い方も高齢の方も同じくらい歩かないと駄目だという国の方針が出ているということなので、江南市民にもっと歩いてほしいと思います。</p>
委員	<p>いろいろな意見を聞いて、皆さん健康に関心があり具体的に取組をされているのだなと勉強になりました。私個人としては、年を取るごとに体が言うことを聞かなくなってきた、どの様にしたら健康に過ごせるかなと考えています。簡単に、苦勞せずに、お金をかけずになどを考えると、歩くことが大事なのかなと感じています。市の取り組みにより、色々なことが良くなっていくのかなと思いました。小学校でのフッ化物塗布が江南だけ行われていないと知らなくて、いろいろな事情があるのだなと思いました。子どもが少なくなって地域の祭りが縮小され、子どもが公園で遊ぶことも少なくなってきました。市を挙げた活性化できることができたらいいなと思いました。</p>
委員	<p>がん検診の受診率が低いことに驚きました。私は40代のころからずっとがん検診を受診しています。60歳を過ぎ、検診で早期がんが見つかり、2度治療を受けて治りました。私の周りには、がん検診を受診している方が多いような気がしていたので、受診率の低さに驚きました。80歳を過ぎると、癌が見つかっていても積極的な治療をしないので受</p>

	<p>診しないと言う方もいます。乳がん検診は痛いので受診しないと言う方もいます。血液検査でがん検診ができるといいと思いました。</p> <p>孫を遊ばせようとしても、公園がない。夏は遊具が熱くなって触れない。冬は冷たくて触れない。子どもを遊ばせることができる場所があるといいなと思います。</p> <p>食生活改善グループは、食生活を通じて健康を維持しようという興味がある人が集まっているグループです。広げるのは難しいと感じています。試作をすることで、我が家の味が濃いのか薄いのかを確認することができて、改善につながっています。興味のない人に、どうしたら伝わるのかという課題は残っています。</p> <p>健康マイレージを毎年もらいますが、カードを失くしてしまいます。キャッシュカードのような物なら、破れたり紛失したりはしないのではと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>江南市の事業では、「こころの相談」に月1回携わっています。実際の相談内容は、精神疾患に関することは少ないです。人間関係、子育て、健康や経済的な問題に関することが多く、そういったところから不眠になったり、メンタルに不調をきたしたりしていることが多いと感じています。メンタル不調は、その人を取り巻く環境に非常に関係しているので、関係機関の皆様と連携を取りながら参考にさせていただいて、取組の経過を追って、また意見を出させていたいただきたいと思いました。</p>
<p>副 会 長</p>	<p>現在、区長を務めていますが、地区の役員や老人クラブの役員は男性がほとんどです。一方で、子ども会やPTAの役員は女性がほとんどです。アンケートで地域活動に参加している人という設問に対して、女性は遠慮がちですので、自分から社会活動・地域活動に参加していると答えづらい方もいるのではないかと思います。老人福祉センターでも、色々な活動をされていますが、女性が多いです。そういった活動も社会活動に参加していただくと、女性の割合も大きくなるのではないかと思います。</p> <p>福祉の分野においても、包括的支援体制整備ということが言われています。以前は、障害をお持ちの方や高齢の方に対する支援が福祉だという認識があったのですが、今はその家族も支援していかないと生活ができないという状況になってきています。福祉では、そういった方を含めた支援を地域と一緒にやっていくという考え方で進めています。</p>

	<p>す。健康づくりの分野においても、地域の全ての人が健康で過ごせるというのが幸せな地域だと思いますので、様々な施策がうまく進むといいなと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>たくさんのご意見ありがとうございました。この会議で「顔の見える関係」を作ることができると思いますので、今回の意見をもとに、事務局で調査研究を進めていただきたいと思います。</p> <p>最後、その他として事務局から何かありますか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>先程、委員から質問のありました「地域活動に参加している人の増加」についてですが、アンケートの設問での地域活動の定義は、「自治会、子ども会PTAなどのことです」となっております。</p> <p>質問の内容としましては、「あなたはこの1年間で地域での活動に参加しましたか」という問いに対して、「参加した」と「参加していない」のどちらかを回答するというものでした。</p>
<p>会 長</p>	<p>本日予定しておりました協議事項はすべて終了いたしました。議事進行にご協力いただき、誠にありがとうございました。これを持ちまして、令和6年度第1回江南市健康づくり推進協議会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>